

卓越した指導力と謙虚さへ学ぶべき

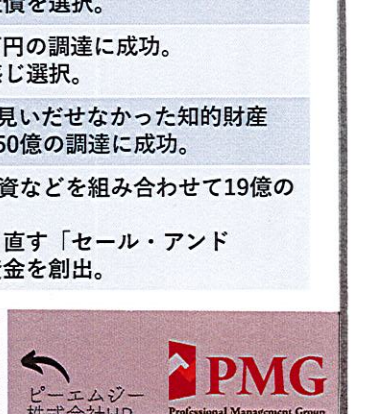
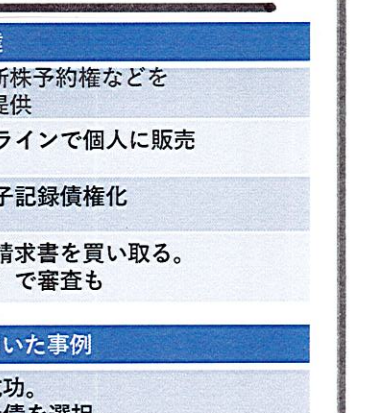
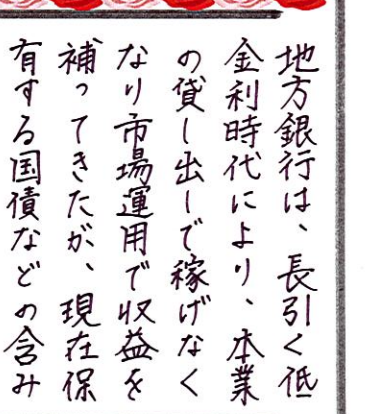
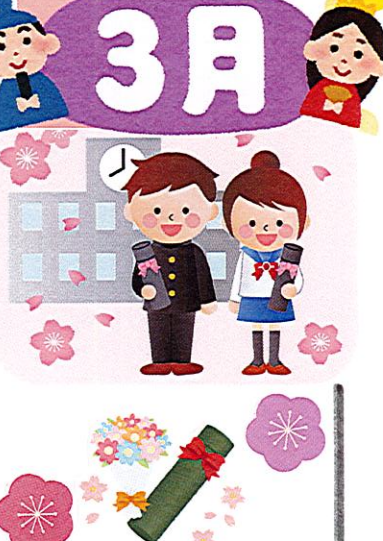
世界の親トヨタを追悼

トヨタ自動車の社長として世界有数の自動車メーカーに発展させたトヨタ自動車名誉会長豊田章一郎氏が2月14日に七くなった。97歳だった。

豊田氏が会社を率いていた当時は、激しさを増す日米貿易摩擦への対応もあって、社長就任後は、アメリカのケンタッキー州に工場建設を決めたほか、カナダでも現地生産を進めるなど、積極的に海外生産に取り組んだ。これを機にトヨタは日本の自動車メーカーとして海外進出を加速させ、世界的な企業へと躍進

していった。1986年のNHKのインタビューで「ものづくりには日々の改善や研究の積み重ねが必要で、主力を海外だけに向けると、日本国内の技術が遅れることになる。そうならないよう二兎を追って、もう二兎を取る」という考えでやっていきたいと述べ、日本のものづくりの国際競争力を維持するためには、海外だけでなく国内に拠点を残すべきだと話していた。さらに欧州では階級制が色濃く紳士は現場に行かない慣習だったが、トヨタは町工場

の考え方で現場主義を貫いてきたことで差が生まれたとも語っていた。現在トヨタ自動車は22年3月期営業収益3兆1兆3795億円(税引後利益2兆8501億円)を生み出す強い企業だ。しかし「社員に慢心が出てこないか、慢心は



減びの始まりだ」と危機感を持っていた。実はJAL破綻の原因の一つは従業員の慢心だったという。

コストダウンなんかだと、本田技研工業はうちはより上、設備投資を少なく、設計も性能も向上する努力をしないと、と、驕ることなく謙虚な姿勢で社員に現状で満足してはならないことを常に意識させてきた。こうした積み重ねが世界的企業の礎を作り出してきた。

地方銀行は、長引く低金利時代により、本業の貸し出しで稼げなくなり市場運用で収益を補ってきたが、現在保有する国債などの含み損が急拡大している。要因は、日銀が12月に長期金利の変動許容幅を拡大、金利上昇によるものとされている。含み損が、すぐに銀行の財務に影響を及ぼすものではないが、貸し出し余力が落ち融資や配当、不良債権処理など経営余力を低下させるリスクがあるとされている。

東電HD 緊急融資!? 4,000億円

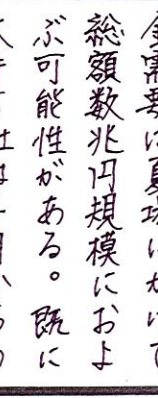
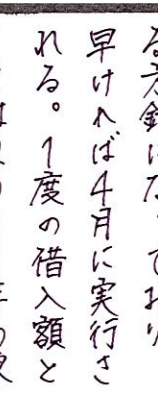
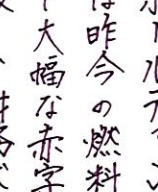
東京電力ホールディングス(HD)は昨今の燃料高、円安で大幅な赤字に陥り、厳しい財務状況が余儀なくされている。財務基盤の改善のため2つの案が出された、1つ目が総額4千億円の緊急融資だ。日本政策投資銀行を筆頭に三井住友銀行やみずほ銀行、日本生命保険など10社で融資団を構成し緊急融資を実行す

る方針になっており、早ければ4月に行われる。1度の借入額としては2011年の東日本大震災以降で最大の金額である。2つ目の案が電気料金値上げによる収益改善だ。3分の2の家賃が契約する規制料金を今年6月に平均29%上げる料金改定を経済産業省に申請している。大手電力会社10社の資

金需要は夏場にかけて総額数兆円規模におよぶ可能性がある。既に大手5社は4月からの値上げを申請している状況だ。消費者は電力会社を選べないというが、電気消費量を下げるといいう手立ちは可能だ。

弊社では初期費用ゼロで最新省エネ設備を利用できるサービスのご提案もしております。

電気使用量ピークの夏場を迎える前に一度ご検討する価値は大いにあります！



地方銀行の現状から考える 資金調達手段のいろは

銀行融資を受けるのが難しい新興企業にも調達の機会が増えてきている。金融引き締めが続く中、複数の手法を組み合わせさせて資金を確保していくことが、今後企業の成長には欠かせない一つの手段ではないだろうか。

多様な資金調達	
①ベンチャーデット	社債や融資、新株予約権などを組み合わせて提供
②社債プラットフォーム	私募債をオンラインで個人に販売
③POファイナンス	受発注書を電子記録債権化
④オンライン型ファクタリング	オンラインで請求書を買取る。人工知能(AI)で審査も

- 多様な資金調達手法を用いた事例
- IT業界のB社は社債で7000万円の調達に成功。株式の希薄化を抑えられるメリットから社債を選択。
 - 運送業のT社は、ファクタリングで5000万円の調達に成功。即日対応というスピード感にメリットを感じ選択。
 - 製造業のS社は、これまで担保価値として見いだせなかった知的財産などの無形資産に価値をつけたことで計350億の調達に成功。
 - サービス業のC社は、ファクタリングや融資などを組み合わせて19億の調達に成功。家具・家電などの保有資産を売却して借り直す「セール・アンド・リースバック」という仕組みも使って資金を創出。

「参考文献」

- 「追悼 トヨタの豊田章一郎名誉会長 慢心あれば減びが始まる」日経BP 2023.2.15 <https://business.nikkei.com/atcl/seminar/19/00059/021400362/2P=2>
- 「トヨタ 豊田章一郎名誉会長が死去 世界有数の自動車メーカーに」NHK NEWS WEB 2023.2.15 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230214/k10013980631000.html>
- 「地銀の国内債含み損1.4兆円 3カ月で倍増、金利上昇響く」日本経済新聞 2023.2.14 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB1459W0U3A210C2000000/>
- 「変貌スタートアップ金融(下)新興、資金調達使い分け」東京経済新聞 2023.2.15 <https://www.nikkei.com/article/DGKKZO68468690U3A210C2EE9000/>
- 「大手行、東京電力に緊急融資4000億円 燃料高で資金不足」東京経済新聞 2023.2.14 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB144210U3A210C2000000/>
- 「大手銀行などが「東京電力HD」に計4000億円規模の融資へ調整」NHK NEWS WEB 2023.2.14 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230214/k10013980691000.html>

